

# 1月18日 褥瘡・拘縮予防研修会 実施

褥瘡対策委員会主催「褥瘡・拘縮予防研修会」を実施いたしました。

講師に、相原病院 リハビリテーション科 作業療法士 花形真先生をお呼びし、参加職員24名が勉強させていただきました。

日頃、相談員・ケアマネジャー・看護師・介護士・栄養士が連携し褥瘡が起こらない様に、拘縮が強くない様にとケアを行っておりますが、課題は多く、どのようにアプローチをしていけばよいか模索しており、研修の開催となりました。

今回30分の講義の後、約1時間講師の指導のもと実技演習が行われ、ケア対象者への声かけから始まり、ベッドから車いすへの移乗のポイントや、クッションの活用方法などを幅広く指導していただき、これからの褥瘡・拘縮への対応を考える上で、大変参考になりました。実際に実技演習時にモデルをしていた職員は、「声かけが無いと何をされるのか不安がある」と言っていました。又、手の触れ方一つでケア対象者が不快・苦痛に感じてしまうことがあるという点も、日々の忙しさを理由に忘れてしまっ  
てはいけないことだと改めて認識させられました。

体験することで入所者様の気持ちに少しでも寄り添うことができ、今後のケアに活か  
せればと思います。



写真を含めたスライド



講師の指導の後、  
実際に介助の方法を体験



ベッドから車椅子への  
移乗時のポイント演習



適切な  
クッションの  
当て方演習

